

社会福祉法人丹穂会

平成30年度 事業計画

社会福祉法の一部改正施行後、1年が経過。30年度は、前年度に増して執行機関である理事会機能及び議決機関である評議員会が機能するよう努めるとともに、地域の福祉ニーズを把握し地域貢献に努める。また、法改正の主旨でもある事業の透明性を図るため、可能な限り情報公開を行っていく。

- ① 施設経営面について、障害者支援施設「緑ヶ丘学園」では、竹材を活用した作業の効率化等を図るため、小規模な作業所を緑ヶ丘学園跡地に建設するほか、これまでの実績等から判断して生活介護の定員増等を図っていく。
- ② 特別養護老人ホーム「福寿荘」は、建物の老朽化が進行してきているので、大規模修繕に至らないように事前に修繕箇所の把握に努めていく。
- ③ 施設処遇面について、両施設ともに高齢化、重度化が進展していることから、引き続き介護や機能回復訓練の充実に努めていくほか転倒防止やインフルエンザ等の感染予防に努めていく。

1 事業の経営

第1種社会福祉事業

- (1) 障害者支援施設「緑ヶ丘学園」
生活介護（60人） 施設入所支援（50人）
- (2) 特別養護老人ホーム「福寿荘」（50人）

第2種社会福祉事業

- (1) 緑ヶ丘学園短期入所事業（5人）
- (2) 特定相談支援事業所みどり
- (3) 福寿荘短期入所事業（20人）
- (4) 福寿荘通所介護事業（25人+10人）

公益事業

- (1) 緑ヶ丘学園日中一時支援事業（10人）
- (2) 居宅介護支援事業

2 理事会・評議員会開催計画（予定）

*理事会

- 平成30年5月（決算、事業報告、定時評議員会の日時・議案等）
平成30年11月（補正予算等）
平成31年3月（当初予算、事業計画等）

*評議員会

定時評議員会

平成30年6月（決算・事業報告等）

任意評議員会：定款変更等は必ず審議

時期不明

3 人材確保

深刻な人材不足が続く中で、ハローワークや福祉人材センターの就職相談会に積極的に参加、電子媒体を使用している求人情報会社や求人情報誌への掲載、チラシの配布人材派遣会社の活用などあらゆる手段を通じて人材確保に努めていく。

4 施設設備等

- ・緑ヶ丘学園竹茶等製造作業所の建設（学園跡地）
- ・施設建物老朽化に伴う修繕工事等

5 施設整備資金借入金の償還

- ・借入先 独立行政法人 福祉医療機構
- ・借入理由 緑ヶ丘学園移転改築に伴う諸計費等
- ・借入金額 204,700 千円（20年償還）
- ・平成30年度償還額（13回目）

元金 10,230,000 円

利息 1,150,875 円

計 11,380,875 円